

Course number	U-LAS22 20001 SO48				
Course title (and course title in English)	フランス語II A F2105 Intermediate French A		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,NISHIYAMA NORIYUKI	
Group	Languages		Field(Classification)		
Language of instruction	Japanese and French		Old group	Group C	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・First semester
Days and periods	Wed.3	Target year	2nd year students or above		Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]					
<p><フランス文化> フランス語はフランスで生まれた言語ですが、現在ではフランスだけではなく世界の各地でさまざまな歴史的、また文化的理由から話されています。この授業ではフランス語の展開を歴史的、または地理的観点からたどり、とりわけフランコフォニーという運動の中からフランス語の動向を考えます。</p>					
[Course objectives]					
読解を通じて初級文法の知識を確実なものにすると共に、比較的やさしい表現を使いながらまとまりのある文章を読解することがこの授業の目標です。					
[Course schedule and contents]					
<p>授業は受講者による発表を中心とします。毎回、2ページ強を進みます。また授業のはじめに復習を兼ねてディクテ（書き取り試験）を行います。一回の授業で下記の項目をひとつあるいは2つ、取り上げる</p> <p>OIFフランコフォニー国際機構 レオポール・セダール・サンゴールについて フランス語の起源について フランス語の歴史について 17世紀から18世紀にかけてのフランス語について 16世紀から18世紀にいたるフランス語の歴史 近現代社会の中でのフランス語の普及について ベルギーのフランス語 ベルギーの言語対立について スイスの言語事情について フランスのイメージとスイスとフランスの関係をめぐって アルジェリアとフランス語 アルジェリアとアルベール・カミュ 標準フランス語 カナダのフランス語の特徴 カナダ人の言語生活について ケベックのフランス語政策について ケベックの映画とフランス語との関連 ケベックの歌手たち</p>					
Continue to フランス語II A F2105(2)					

フランス語II A F2105(2)

ハイチの歴史
ハイチ人の移住について
なおこの授業はフィードバックを含めて15回の授業です。

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

評価は発表に加えて、試験などによる総合評価とします。詳しくは授業で説明します。

[Textbooks]

教材：フランコフォニーとはなにか（自作のコピー教材を配布します。）

[References, etc.]

（References, etc.）
Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

受講者は毎回きちんと予習を行うこと。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]